

第7回 レザーカット学生コンテスト2021

RAZOR CUT STUDENT COMPETITION 2021

募集ヘアスタイル

「レザーで創るショートスタイル」
レザーを使ってソフト感をだしてみよう！

入賞作品発表

ウィッグ部門

審査・寸評 山下浩二氏 (Double)



ウィッグ部門 **グランプリ**



白木 悠聖 様
名古屋美容専門学校

審査
山下氏
寸評

レザーとハサミをうまく合わせてつくっている。色のコントラストとウィッグの顔の色すべてを合わせていて、仕上げも今風のにおいが入っているので、新しいウルフとしてよいと思います。

カラーのバランスもよく、それが生きるようにカットしているので1位に。絶妙でいいですよ。前髪の動きとか、下の動きとか、うまく計算してつくっているの、素晴らしい、いいですね。この調子で、これをモデルさんでもできるように頑張ってください。

ウィッグ部門 準グランプリ



松井 颯汰 様
関西美容専門学校

審査
山下氏
寸評

仕上げがすごくキレイにできていて、レザーでつくるグラデーションの雰囲気が出ています。もう少しナチュラルな感じに仕上げればもっといいですが、横に広がっている雰囲気をレザーでつくっているのはなかなかいいですね。

ウィッグ部門 3位



大久保 晴琉 様
高津理容学院
専門学校

審査
山下氏
寸評

オーソックスですが、今いちばん売れやすい髪。ショートブームなので、誰でも似合うスタイルが、レザーならではのいいと思います。でも削りすぎて、表のツヤが消えているのが残念。削ぎすぎ。(レザーは削ぐものだと思っている人がとても多いが、もっとツヤを出したりとか、重さを出したりとか、使い方はたくさんあるので、いっぱい練習してください。)

ウィッグ部門 佳作



宮脇 理緒 様
名古屋美容専門学校

審査
山下氏
寸評

顔の雰囲気に合っている。内側に黒い髪があり、その上に明るい髪を乗せているところは、サロンでも使えて、毛先に動きが出ているスタイルだと思います。どこから黒い部分かわかりやすい点がちょっと気になるくらいで、似合っていていいですね。



入賞作品の選出は山下氏のサロン (Double SONS) で実施されました

山下氏によるウィッグ部門総評

今回はボブっぽいものとか、毛先が重いものが多かった。本当はレザーの得意とするところですが、もう少し形をちゃんとつくること。レザーでベースづくりをするということではなく、切り上げが終わりという感じのつくり方をすると、もっときれいになると思います。切っている時点で出来上がっているようにつくれば、もっと生きた感じの髪になると思います。

学生へのメッセージ

レザーだけでなく、ハサミを使ってもいいので、シャープなものソフトなものとのコントラストの付け方を覚えてください。レザーでももっとシャープに切れるので、何をすればシャープに切れるのかをもう少し研究してもらいたいですね。具体的にいうと、ツヤを出すには重さを残すこと。それができれば、いいと思います。

(練習になるのでハサミで切った感じをレザーで切ってみるといい。ハサミで切ったのか、レザーで切ったのかわからないくらいの感じでもっていけるようになって上手になる。削いでいるのはダメ。)



フェザー安全剃刀株式会社

本社/〒531-0075 大阪市北区大淀南3丁目3番70号
東京支店/〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1丁目2番2号
ホームページ www.feather.co.jp/